

山行番	No. 1647
日時	2015.06.14(日)曇
山域	奥秩父・瑞牆山(2230m)
標高差	上り 瑞牆山公園下約1450m～瑞牆山2230m＝約780m 下り 同上
コース	芝生広場発8:03—二枚目のプレート9:23—展望台9:41—大ヤスリ岩10:02(一般道)—頂上10:32 ～10:43—不動の滝11:45～12:20—林道—芝生広場13:27—増富の湯—下土狩19:00
参加者	└ 後藤、小松、峰田、浜道、掛橋、今西＝6名
参加費	4400円＋(増富温泉＝820円)

天気予報に反して、静岡県東部は朝から雨。甲府方面は曇りだろうと車を走らせたが、河口湖周辺も雨。不安を募らせながらの出発となった。

5:00長泉出発。三島(浜道)、ベスロン(掛橋)、裾野市役所(今西)を拾い、出発。

みずがき自然公園に到着。心配していた天気は曇り。なんとか出発できそう。日曜日のため天気は曇りだが、駐車場には20台以上車は止まっている。テントもあり泊まりのグループもあり。

芝生広場を出発。カンマンボロンを目指す。最初は気持ちの良い唐松林だが、すぐに急登が始まる。シャクナゲの花が終わり、新しい葉を出しているのが美しい。途中6、7名の中高年グループを追い越す。急登がずっと続く。

ずいぶん登ったところで、標識を見落とし、カンマンボロンを過ぎてしまったことに気づく。だいぶ登ったところだったので、あの急登を下るのはやめ、そのまま山頂を目指す。

大ヤスリ岩で、一般道と合流。人が多くなる。山頂付近の登山道は泥、岩は濡れていて滑りやすい。

大ヤスリでは、岩登りのグループを見学。岩に杭を打ち付けてはいけけないので、岩と岩の隙間に分度器のような金具をはめ込みながら、それを支えにロープをかけて登るらしい。

山頂到着。たくさんの人でにぎわっている。雲がかかっているので、絶景が見えない。その分、恐怖感がなく、岩から下を覗き込むが、下は谷底。かろうじて雲の切れ間に向こうの山が見えた。山頂は賑やかで、お弁当をひろげる場所もなく、記念写真をとり、「さあ、下りよう」の後藤さんの声に、「え～、もう少し山頂を楽しみましょう。」の意見多数に、10分ほど、山頂を楽しみ、下山開始。

頂上から不動の滝に下る。静かな登山道となる。こちらの道は、岩場がない山道で下りやすい。川を横切り、何度か橋をわたる。不動の滝到着。ここでお昼となる。汗と気温が低い為、身体が冷える。上着を着て、不動の滝を見ながらの昼食。

午後、暫く下ると、舗装道路到着。小松さんが春ゼミを発見。耳をすませば、たくさん春ゼミが鳴いている。道端には、誇らしげにクリンソウが咲いている。

駐車場到着。増富温泉で汗を流し、帰路へ。

#### その他の記述(後藤)

1. このコースは、昨年訪れているが、上れなかった。カンマンボロン(大日如来)でお経を唱えられず残念無念。捲土重来。
2. コースは、かなりの急登りが続くが技術的には全く問題ない。テープも沢山ある。
3. 瑞牆山は、石楠花シーズンがイイ。今回、残り石楠花もまあまあキレイだった。

4. 頂上は、物凄い数の人。何処にこんなにいたのか??中に「ローソクを立てて」誕生日祝いの輩。歌も唄っていた。ツタク～!!
5. 不動の滝コースは、超静か。3時間の下りで会ったのは、中高年男4名・山ガール2名・単独男子1名のみ。これって、ちょっと変だね!!
6. 不動沢の岩場は見事。女性がトップで上っていた。「頑張って～!!」のエールを送る。
7. 林道歩きは、花が案外良く、楽しかった。
8. 増富の湯で昨年も会った大バアさまの出店に寄った。御年を伺ったら、何と「91歳」という。それに感動した訳ではないが、300-の「ヨモギ饅頭」を買った。

#### 参加者の一言

- 後藤 今回も大日如来にお会いできなく失礼しました。次回は必ず行きますのでよろしくお願いします。
- 小松 バリエーションルートがとても好きになりました。
- 峰田 前回、増富温泉がお休みだったので、今回入れて、温度の違う温泉に何個かにわかれているところなんだとわかりました。
- 浜道 一般登山口にたくさん人がいて、一般登山道が今回わかりました。
- 掛橋 雨飾山が変更になり、瑞牆山に来て良かったです。
- 今西 山頂に着き、写真を取ってすぐに下山と言われびっくりしました。



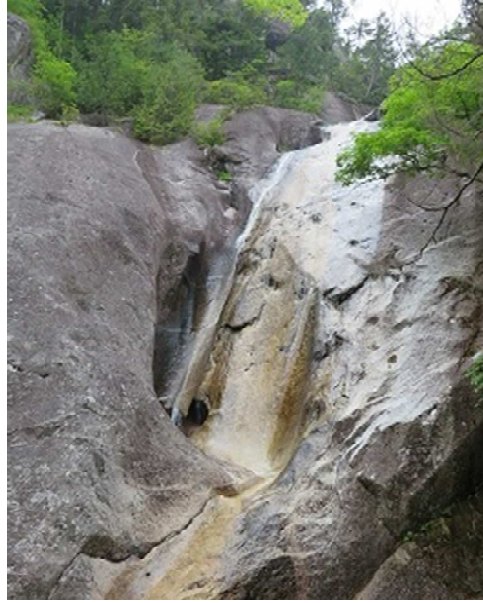
大ヤスリ岩?



石楠花



大ヤスリ岩のクライマー



不動の滝

岩鏡



黄花の駒爪

九輪草





ヨイコラショ！！  
誰だ、笑っているのは??！！  
でも、やっぱ楽しいね。



瑞牆山頂上